

特別展

明治・大正・昭和の

鉄道貨物輸送と小運送

右上：送り状(明治29年) 右下：機関車に牽引される宅扱専用貨車(昭和12年)伊藤英雄氏撮影
左：「通信台塔上ヨリ東京市中展望ノ景」(明治43年)通信総合博物館所蔵



2013年 9月10日(火)～10月27日(日)

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

【休館日】9月17日・24日・30日、10月7日・15日・21日

【入館料】高校生以上200円／65歳以上100円

中学生以下無料

*団体20名以上半額

*地下1階の常設展示もご覧いただけます

【交通】JR・京浜急行 品川駅 高輪口徒歩7分
都営浅草線 高輪台駅 A1出口徒歩7分

戦前・戦後の鉄道貨物映画上映会

日時：9月15日(日)／10月13日(日)

午後1時30分～午後3時30分

上映作品 *①②はビデオによる上映

①「貨物列車」(昭和16年／製作：鉄道省／撮影：松竹(株))

②「貨物輸送」(昭和26年／製作：東宝教育映画(株))

③「荷役はかわる 第2集」(昭和35年／企画：日本通運(株)／製作：運輸新聞社映画部)

参加方法：当日先着順(30名) *入館券が必要です

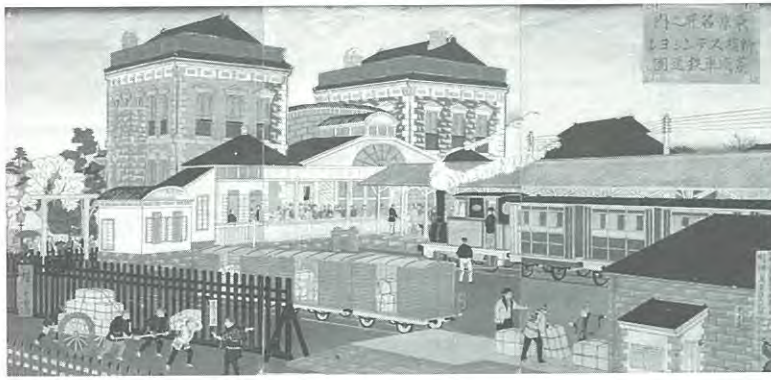
物流博物館
MUSEUM OF LOGISTICS

〒108-0074 東京都港区高輪4-7-15 TEL 03(3280)1616 FAX 03(3280)4385 <http://www.lmuse.or.jp>



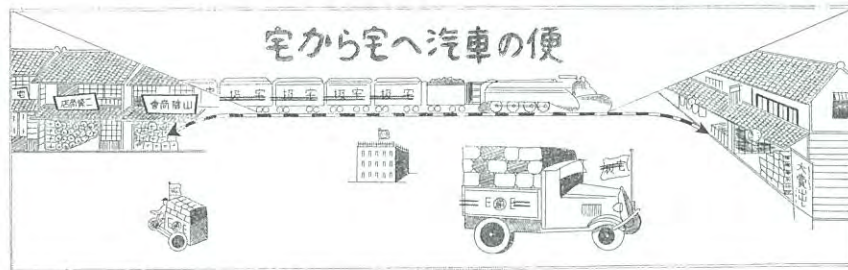
特別展

明治・大正・昭和の
鉄道貨物輸送と小運送



本年は明治6年(1873)に鉄道貨物輸送が開業してから140周年に当たりますが、同時に、「小運送業」「通運業」などと呼ばれてきた鉄道貨物取扱業にとっても、初めて業務が開始されて140年目の年となります。駅から先の輸送業務を担当し、輸送の差配を行う鉄道貨物取扱業は、鉄道貨物輸送にとってなくてはならない大きな役割を果たしてきました。

本展では、両者の140周年を記念して、日本の近現代の物流を支えた鉄道貨物輸送と小運送業の明治・大正・昭和戦前期の動向について、これまであまり公開されてこなかった館蔵資料を用いて、その概要の紹介を行います。



担当学芸員によるギャラリートーク

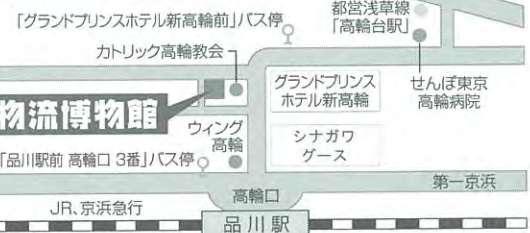
9月15日(日)・10月13日(日)映画会終了後

*映画会詳細については表面をご覧ください

9月28日(土)・10月27日(日)午後2時～
参加方法：当日会場へ(入館券が必要です)



物流博物館へのアクセス



電車 ●品川駅(JR、京浜急行)下車…徒歩7分
高輪台駅(都営浅草線)下車…徒歩7分
バス ●品川駅前高輪口(バス乗り場3番 都営バス 品93乗車(目黒駅方面行) グランドプリンスホテル新高輪前 下車…徒歩1分
〒108-0074 東京都港区高輪4-7-15 TEL 03(3280)1616

資料名(左から右、上から下)

- ①「東京名所之内新橋蒸気車鉄道図」(明治8年頃) ②宅扱宣伝のポスターをつけた集配用電気自動車(昭和10年代前半)
- ③イ号コンテナ(昭和6年頃) ④日本鉄道(株)貨物取扱人看板(明治時代) ⑤東京合同運送(株)品川支店(昭和9年)
- ⑥「鉄道線路便覧」(明治22年頃) ⑦「宅扱対小口扱運賃比較表」(部分、昭和10年) ⑧広島県産業奨励館(原爆ドーム)で開催された宅扱ポスター展覧会(昭和12年)
- ⑨「第十版 全国運送取扱人名簿」(大正3年) ⑩国際通運(株)の印半纏(昭和3~12年)